

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	利用者の生活環境を見直す必要がある。	人的環境 人材の育成	利用者の自尊心やプライバシーを損ねない言葉かけや対応に心掛ける。食事時のエプロンの使用や声掛け、介助のスピード等利用者一人ひとりにあったケアに心がける。	12ヶ月
2	35	感染症の予防の為、トイレの扉の閉め忘れがないよう徹底する必要がある。	感染症予防 施設内の環境整備	利用者、スタッフとも確実な手洗い、うがい、消毒を行う。また、トイレの使用後は、蓋を閉めてから水を流す。トイレの出入り口の扉は必ず閉める。スタッフの意識を高める為、内部・外部研修に積極的に参加する。	12ヶ月
3	33	利用者の重度化に伴う、終末期ケアに向けた方針の共有と支援(利用者及び家族と事業所側との方針の共有と意思確認書の作成)が出来ていない。	終末期の受け入れに対する職員のスキルアップ及び医療機関との連携を図り、利用者家族と事業所側の方針の確認を文書化する。	利用者家族と事業所側の方針を共有し、意思の確認をした上で文書化した意思確認書を作成する。また、ご家族も利用者に寄り添い、職員と協力して一緒に看取りケアが出来る様な環境をつくる。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。